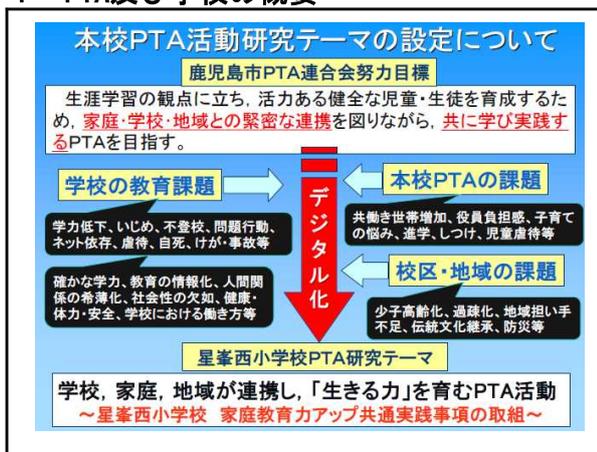


鹿児島市立星峯西小学校 PTA

1 PTA及び学校の概要



本校は、今年で創立43周年を迎え、児童数547名、学級数24学級、教職員数33名、PTA戸数417戸からなる学校で、校訓は「かしこく、なかよく、たくましく」である。

令和3年4月から「学校、家庭、地域が連携し、『生きる力』を育むPTA活動」という研究テーマの下、学校と家庭が子どもたちが抱える教育課題を共有化し、一体となって組織的に取り組むPTA活動のあり方についての研究に取り組んできた。家庭教育力アップ共通実践事項の取組について紹介したい。

2 研究の概要

(1) 研究テーマ及び研究テーマ設定の理由

本校では、鹿児島市PTA連合会の努力目標である「生涯教育の観点に立ち、活力ある健全な児童・生徒を育成するため、家庭・学校・地域との緊密な連携を図りながら、共に学び実践するPTAを目指す。」を受けて、本校区・地域の課題、PTAの課題、学校の課題を基に「学校、家庭、地域が連携し『生きる力』を育むPTA活動」。サブテーマ「星峯西小学校家庭教育力アップ共通実践事項の取組」という研究テーマを設定して令和3年度7月から取り組んできた。

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動
～家庭教育力アップPTA共通実践事項の取組～

(2) 研究内容及び研究方法

私たちは、左下の図1に示したように「生きる力」を育むためには、子どもを取り巻く学校、家庭、地域が足並みを揃えながら互いに連携し合って子どもに関わっていくことが大切であると考えた。「生きる力」とは、知の側面である「確かな学力」と徳の側面である「豊かな人間性」と体の側面である「健康・体力」からなるものである。右下図2のように本校の校訓「かしこく、なかよく、たくましく」とも対応している。これら資質・能力を育むために、PTAの取組として「PTA共通実践事項」を設定し、あいさつ運動（家庭、近所）、一家庭一家訓、ノーメディアタイム、読書活動（うち読）、早寝・早起き・朝ご飯の5つの取組を学校や地域と連携し全家庭が一体となって取り組んでいこうと考えた。

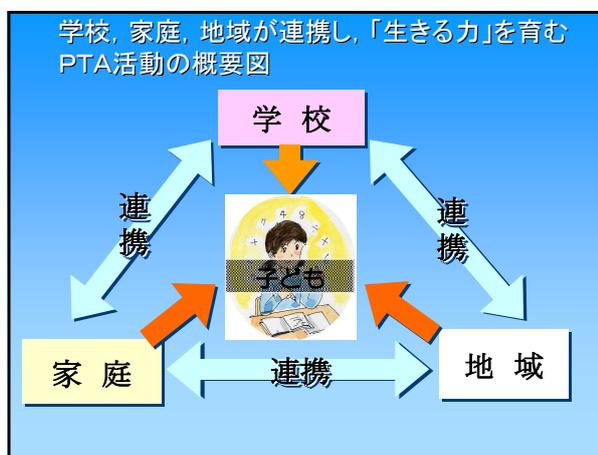


図1

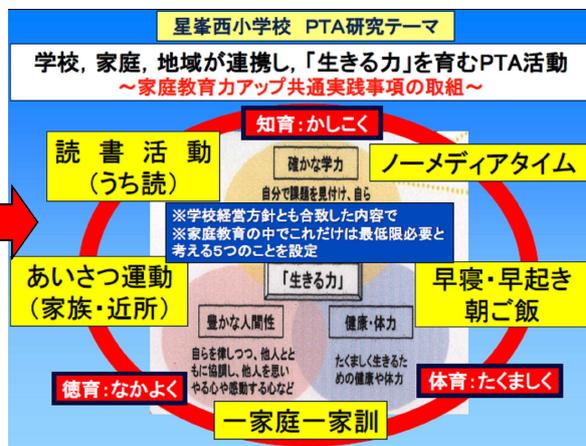


図2

② 一家庭一家訓

【共通実践事項の具体的取組】
② 一家庭一家訓



基本的な生活習慣の確立や家族の一員として自覚を促す取組(お風呂掃除や食器洗いのお手伝いをする子どもの様子)

【一家庭一家訓のよさ】

- 家庭で過ごす時間を有効に使えるようになる。
- 家族各自の自主性と責任感を育てられる。
- 家族の関わりが増え、家族一人一人の役割がはっきりする。

「一家庭一家訓」とは、子どもに手伝いなどの役割を与えて取り組ませたり、家族全員が守るルールを作って取り組んだりする取組である。家訓といえば大げさに聞こえるが、「子どもが毎日継続して取り組めること、日々の取組を評価しやすいもの」に留意して設定するようにした。家族の一員としての自覚と家庭での基本的な生活習慣の確立を目指している。家族内での話し合いをして各家庭で決めたことが守れるように、居間等の家族が集まるところに共通実践事項の用紙を掲示するようにして継続した取組ができるようにしている。

③ ノーメディアタイム

本校では、学校からの提案により、令和3年7月から新たに「ノーメディアタイム」という取組をスタートさせた。PTA 保健体育部でも「チャレンジメディアコントロール」のアンケート調査を夏休み中に呼びかけてアンケート調査を行ってきた。期間が夏休みに限定されることもあり、毎日の家庭生活の中で継続的に取り組めるようにするために、令和5年度から小学校だけの取組(8月実施)を中学校の期末テスト(6月実施)に重ね合わせてアンケート調査を行うように変更した。

学校では、令和3年4月から子どもたちの家庭学習の内容をより充実させるための方策として、右図のように各学年の家庭学習目安時間を決めて家庭学習の習慣化を目的に取り組んできた。全学年に自作の「家庭学習ノート」(漢字・日記・宅習)を導入して取り組んできた。学年が上がるにつれて習い事などに通っている子どもの割合が高くなり、短時間でも家庭学習の質と量の確保を図る上でも学校と家庭が連携した取組は今後とも欠かせない。

【星峯西小学校家庭学習目安時間】

学年×10+20分

1年:30分、2年:40分、3年:50分

4年:60分、5年:70分、6年:80分

【共通実践事項の具体的取組】

③ ノーメディアタイム



テレビを消して学習に取り組んだり、時間を決めてPCで学習したりする子どもの様子

【PTA活動】チャレンジ・メディア・コントロールの調査結果について

2022年11月25日



PTA保健体育部が呼びかけて取り組むチャレンジメディアコントロールのアンケート調査

「ノーメディアタイム」とは、子どもたちが生涯にわたって自主的・主体的にメディアを使うようにするために、親子で話し合っ家庭内ルールをつくり取り組んでいる→PTA保健体育部では毎年、実施状況をGoogleフォームで把握・集計して結果をフィードバックしています。

【PTA活動】チャレンジ・メディア・コントロールの調査結果について
 2022年11月25日

<学年別達成状況>

11月25日(金)PTA保健体育部が夏休み期間中のチャレンジ・メディア・コントロールに関するアンケート調査結果をまとめていただきましたので、ご覧ください。各家庭の取組状況などがまとめられています。ノーメディアの達成状況は各学年ともに50%を切っていることが分かりました。

自校オリジナルの家庭学習ノートの活用と掲示

家庭学習における家庭学習ノートとデジタルドリルとのより良い組合せ、併用の仕方を実践検証する。

④ 読書活動（うち読）

家庭では、ノーメディアタイムの時間を有効に活用して読書活動にも取り組んできた。具体的には家庭での保護者による音読カードの見届け、家庭内での読み聞かせ活動などに取り組んできた。また、学校では、地域読書ボランティアグループによる読み聞かせの活動を長年にわたって行っている。これまで学校でも低中高学年ごとに年間目標冊数を設定して取り組んできているが、この3年間はコロナ禍により図書の貸出ができない状況もあり、目標冊数を達成できない子どもが多かった。徐々に学校図書の貸出も再開されて、子どもたちの読書冊数もほぼ目標冊数に達するようになってきた。

【共通実践事項の具体的取組】

④ 読書活動（うち読）



学校：うち読カードの掲示

家庭：うち読に取り組む子どもの様子



地域連携：読書ボランティアグループによる読み聞かせの活動の様子

* 令和4年度児童一人当たりの読書冊数

○低学年	135冊 / 150冊
○中学年	100冊 / 100冊
○高学年	79冊 / 80冊

⑤ 早寝・早起き・朝ご飯

【共通実践事項の具体的取組】

⑤ 早寝早起き朝ごはん

【平日にスポ活動・習い事等をしている児童生徒の場合】



【スポ少等指導者】
・練習日(休養日2日)、練習時間(2時間程度)の厳守
・17時からスタート
・19時に終了、帰宅

【保護者へのお願い】
・夕食、風呂までの時間帯(19:30)
・勉強を始める時刻(20:30)
・就寝時刻(22:00)
3カ所で保護者から子どもへの声かけを確実にしてください。
※ノーメディアタイム

【保護者へのお願い】
・就寝(22:00までに)
・翌朝起床(7:00までに)
・朝食を食べさせる
・登校(8:00までに)
※早寝早起き朝ご飯

子どもたちの生活リズムや基本的な生活習慣を規則正しくするために「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を行ってきた。学校からは、左図のように子どもたちが帰宅してからの基本的な生活スケジュールについて例示があり、保護者が子どもにどのタイミングで声をかければよいのか具体的に示された。PTA 保健体育部では、下の写真のようにコロナ禍の中ではあったが、学校医や学校薬剤師からの感染予防策の講演を聞いたり、栄養教諭から学校給食における栄養バランスの重要性についての話を聞く機会をつくり、各家庭に情報発信するように努めてきた。

【PTA保体部】第2回学校保健委員会を開催しました

2022年12月01日



12月1日(木)15:30から第2家庭科室で第2回学校保健委員会を開催しました。PTA保体部の役員の皆さん、学校からは校長、教頭、保健主任、養護教諭が参加しました。内容は次の通りです。

- 1 夏休みのメディアコントロールについてのアンケート調査結果の報告
- 2 健康診断結果から(歯科健診結果、視力検査結果)及び治療状況報告
- 3 谷山北地区学校保健研究協議会報告
- 4 講話及び指導助言
学校医の最勝寺先生をお招きして「新型コロナウイルス・インフルエンザ・ワクチン」について講話及び指導助言をいただきました。

【PTA保体部】第3回学校保健委員会を開催しました

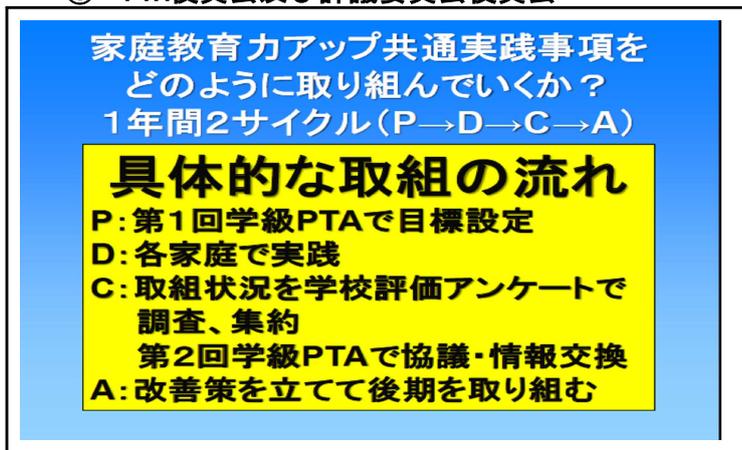
2023年02月10日



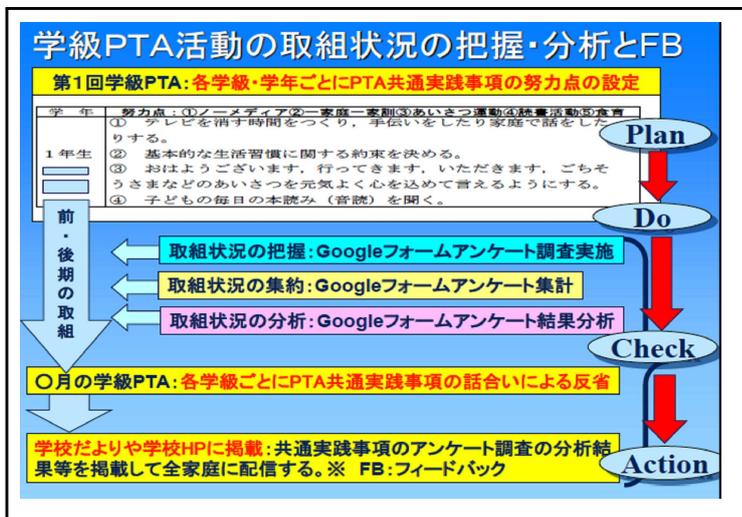
「ノーメディアタイム」「早寝早起き朝ごはん」の取組結果と今度の取組について説明や栄養教諭から「学校における食育について～食を通して健康で生き生きと生活できる力を育てよう～」の講話、学校医、学校薬剤師からの指導助言など

(2) コロナ禍における実践化へ向けての具体的な取組

① PTA役員会及び評議委員会役員会



左図は、家庭教育力アップ共通実践事項を推進していく際に PTA 役員会をもち、その中で学校としての考えや保護者としての考えを出し合いながらよりよい案をつくった上で、具体的にどのように進めていくかを示したものである。PTA 執行部役員、専門部長、学級委員長がそれぞれの役割、取組内容、スケジュール等を確認し、全保護者には学校 HP や星西メールを活用して周知するようにして進めていった。本校では PTA 活動を前期・後期の2期制で進めてきており、年3回学級 PTA を設定するようにして、保護者全体に定期的に広報を行いながら共通理解を図り、共通実践を行うようにしてきた。コロナ禍でなければ、参集して話し合い活動を行いながら進めていくはずであったが、学級 PTA がコロナ禍により中止となったため、学校と家庭を繋ぐデジタル通信システムを有効に活用して周知・広報、取組状況のアンケート把握、集計、結果のフィードバックを行ってきた。



② 取組意識を高め、継続的な取組を推進するための手立て

ア 共通実践事項の説明と取組結果のフィードバック

本校では令和3、4年度のコロナ期間中は第1回学級 PTA が開催できなかったため、学校 HP に資料を掲載しての呼びかけで広報してきたが、昨年度の後期からは学級 PTA を開催できるようになり、学級役員が中心となって取組結果の報告や呼びかけを行えるようになった。右の写真は昨年度最後の学級 PTA で学級役員がアンケート結果の報告をしている様子である。



イ 情報交換を深める少人数による話し合い活動（ワークショップ型の協議）



学期末の学級PTAで行った少人数による話し合い活動の様子

左の写真は、今年度9月の学級PTAでの話し合い活動の様子である。5、6人の小グループをつくり、保護者一人一人が前期の各家庭での取組について振り返りながら話し合えるようにした。各家庭の取組状況（うまくいったことや困っていることなど）を互いに出し合うことで情報交換が図られ、担任からは今後どうしていけばよいか助言をもらうことができるなど、大変有意義な話し合い活動ができた。毎学期、このような少人数による話し合い活動を行うことで次第に全保護者が一体となって取り組む雰囲気がつくられてきた。

ウ 取組状況の把握・分析と広報活動

本校では、保護者からの学校評価を取るタイミングと合わせて家庭教育力アップ共通実践事項の取組状況を把握するようにしている。学校がGoogleフォームを活用してアンケート調査を行っているので、そのタイミングで集約して下さっている。保護者の意識調査や家庭での取組状況をアンケートを基に集約し、学校側で集計作業、結果分析等を行い、その結果を学校HPに掲載し、全家庭に広報するようにしていただいているので、PTA役員の業務負担の軽減や簡素化に繋がっている。

アンケート調査を継続的に行うことで、課題が明確になり、その課題解決のための改善策を考えることにつながった。

エ 課題解決のための改善策

私たちは、これまでの取組状況をアンケート調査によって定期的、継続的に集約してきたが、このことによって取組状況が数値化されて分かり易くなり、そこから課題点を明確にすることができた。課題点がはっきりとすれば、次にどのように課題を解決すればよいかも明らかになる。集約されたデータは、次の学級PTAでの説明資料としても活用することができた。下図は、令和3年度からPTAが取り入れてきた学校と家庭のデジタル通信システムを活用した取組である。様々な業務がデジタル化されることにより、業務の効率化、簡素化を進めてきた。

2 学校と家庭をつなぐ デジタル通信システムの活用

- ①各種行事等のYouTubeのオンライン配信
- ②学校だより等のペーパーレス化とネット配信
- ③Googleフォームを活用した各種アンケート調査
- ④星西メール機能を活用した欠席遅刻届の導入
- ◆PTA活動の改革
- ⑤従来イベントの見直し(バザー→星西フェスタ)
- ⑥行事の参加方法の検討(ボランティア参加等)
- ⑦PTAだより、各種案内等のペーパーレス化
- ⑧GoogleフォームでのPTA関係行事参加募集

学校HP・学校だよりを活用したフィードバック

【家庭教育力アップ共
学校、家庭、地域が
子ども一人一人に「
を育む星西小学校
～令和4年度 前期 学校評価
～8月17日～26日アンケート調査～Google
・回答者数：377/614(回答率61.4%)】

前・後期1回(年2回)学校評価と合わせてGoogleフォームでアンケート調査を行うことで、ペーパーレス化を進め、業務の効率化を図る。現在の取組状況を定期的に学校HPに掲載してフィードバックすることで取組意識を高める。

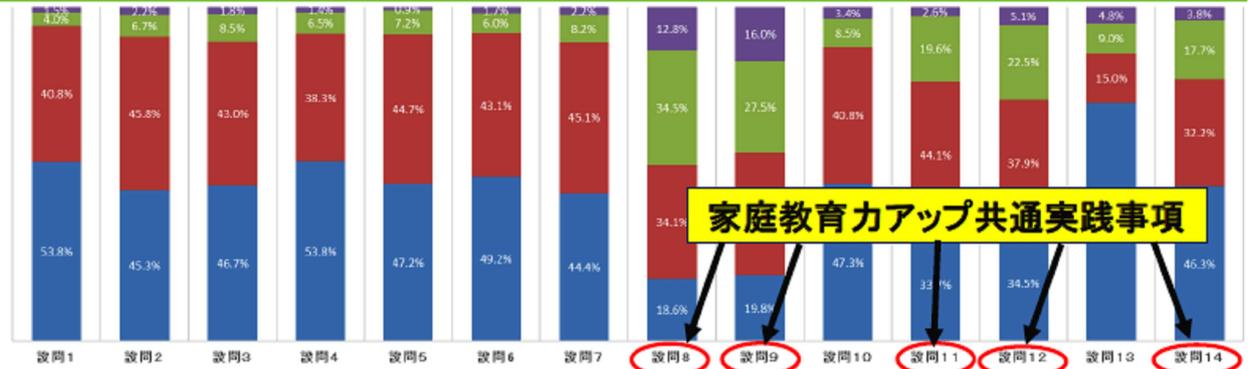
次ページに掲載されたグラフは、令和3年度後期からの共通実践事項に係るグラフである。

縦棒グラフ上の数値は、1ともよいと2まあまよいを合わせた数値です。設問8, 9, 11, 12, 14は家庭教育力アップ共通実践事項

R3前期	90.8	87.6	85.5	82.7	87	88.3	90.1	57.3	47.2	89.1	75.6	75	89.8	84.5
R3後期	87.9↓	87.6→	85.0↓	86.1↑	89.4↑	90.9↑	90.7↑	58.8↑	55.9↑	87.4↓	79.2↑	70.7↓	87.0↓	85.3↑

R4年度学校評価(後期)

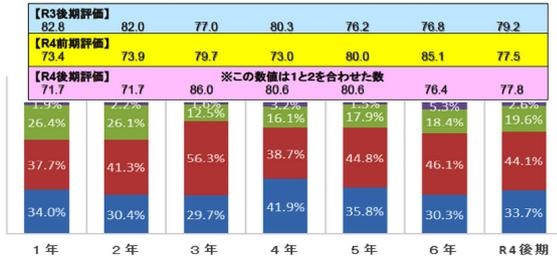
R4前期	91.9↑	91.4↑	90.1↑	88.0↑	89.7↑	89.9↓	89.4↓	57.5↓	49.2↓	86.8↓	77.5↓	74.4↓	87.6↑	84.7↓
R4後期	94.6↑	91.1↓	89.7↓	92.1↑	91.9↑	92.3↑	89.5↓	52.7↓	56.6↑	88.1↓	77.8↑	72.4↓	86.3↓	78.5↓



- 1 教育方針等をPTAやその他の会合で、保護者に分かりやすく伝えてありますか。
- 2 家庭や地域と連携を図り、開かれた学校になっていると思いますか。
- 3 保護者が相談しやすい雰囲気になっていますか。
- 4 学校は子どもや学校の様子をよく伝えてありますか。
- 5 基礎学力向上の取組をしていると思いますか。
- 6 安全指導を徹底し、事故防止に努めていると思いますか。
- 7 子どもが学校に来ることを楽しみにするような学校・学級づくりに努めていますか。
- 8 家庭学習の習慣化に努めましたか。
- 9 お子さんは、朝読みまたは夕読みを行いましたか。
- 10 学校生活に満足した様子で帰宅していると思いますか。
- 11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という明るい返事をしていますか。
- 12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。
- 13 お子さんは、歩いて8時までに登校していますか。
- 14 お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。

令和4年度後期の学校評価(保護者から)

11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という明るい返事をしていますか。→あいさつ運動



1, 2を合わせると学校全体で**77.8% (前回比+0.3p)**。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。あいさつがいつでもどこでもだれとでもできるようにするためには、その姿を大人が示すことが大事です。学校でも重点指導事項に掲げて指導していますが、家庭内でもぜひ実践していただければありがたいです。

令和4年度後期の学校評価(保護者から)

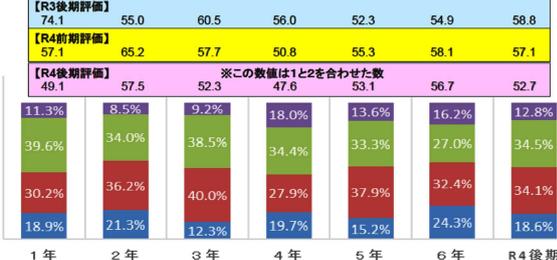
12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。→一家庭一家訓



1, 2を合わせると学校全体で**72.4% (前回比▲2p)**。家庭内で子どもに家族のために役立つお手伝い等の役割を与えることは、子どもにとって良い経験になります。まずは家庭内で学年の発達段階に応じて少しずつ家庭内の役割を与えて実践していただければありがたいです。

令和4年度後期の学校評価(保護者から)

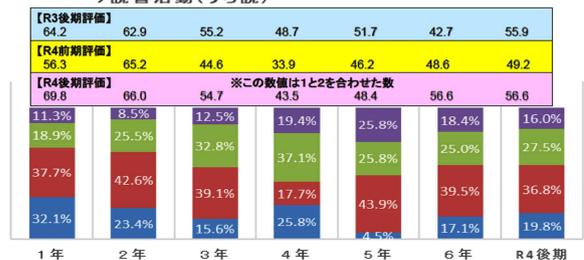
8 家庭学習の習慣化に努めましたか。→ノーメディアタイム



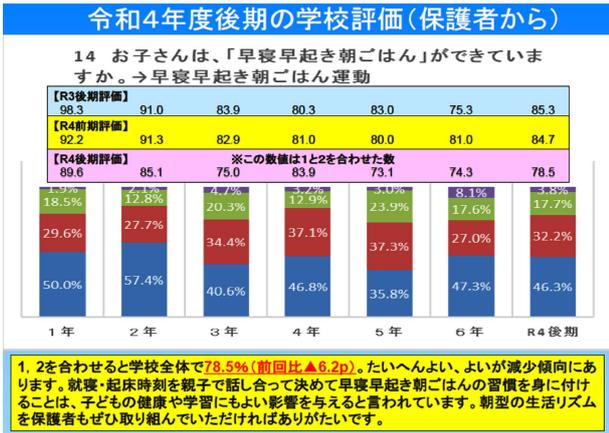
1, 2を合わせると学校全体で**52.7% (前回比▲4.4p)**。情報化社会でよりよく生きていくためにはデジタル機器を自分でコントロールする力を身に付けなくてはなりません。そのためには、家庭でのルールづくり、マナーなど学校と家庭が連携して継続的に取り組んでいく必要があると思います。

令和4年度後期の学校評価(保護者から)

9 お子さんは、朝読み夕読みを行いましたか。→読書活動(うち読)



1, 2を合わせると学校全体で**56.6% (前回比+7.4p)**。学校図書館の貸出も再開され徐々に貸出し冊数も増えてきたことが影響していると考えられます。学校では読書タイムで読み聞かせ活動も活発に行われています。家庭でも子どもが読書のできる環境づくりの御協力をお願いします。



【本年度PTA活動の成果と課題】

【成果】
 ○コロナの影響により計画されたイベントが思うように実施できない状況が続いたが、その一方でデジタル化により業務の効率化、簡素が進められ、学校、家庭、地域が互いに連携し、共通理解の下に組織を挙げて取組を行うことができた。
 ○PTA活動についての参画意識が高まり、家庭教育に対する保護者の意識が高まってきたことが、子どもの姿となって表れ始めている。

【課題】
 ▲コロナ禍においてもこれまでの取組をより一層充実させるために各組織が役割や課題点を明確にして次年度のPTA活動方針や各部門年間活動計画の策定に向けて改善策を盛り込みながら取り組んでいく必要がある。
 ▲家庭教育の充実に向けて学校主導から保護者が主体となった取組として活動を推進できるようにしていく必要がある。

4 研究の成果と課題

私たちは、これまで2年5か月間にわたり、「生きる力」の育成を目指して5つの共通実践事項に取り組んできた。コロナの影響もあり様々な行事が計画通りに進まず、取組はまだ道半ばではあるが、星峯西小学校の子どもたちは良い方向に確実に変わってきている。

学校が変わり、保護者が変わり、学校と家庭、地域が一体となった取組をしたからこそ、子どもたちが変わってきたと言える。

この withcorona の3年間でPTA活動自体も大きく変わってきた3年間であった。特に学校を進めている「教育の情報化」「エドテック」の取組によってPTA活動はデジタル化が進んできたと考える。子どもたちが一人1台のタブレットを1年生から使い始めており、すべての学級で日常的にタブレット端末を有効に活用した授業や補充指導、家庭学習が行われている。そんな中で保護者もデジタル化に対応した保護者としての学びも必要であると考え。また、これまで人手をかけて行ってきた作業等もデジタル化できるところは随時改善してきているが、更に効率化できるところはないか吟味検討していきたいと考える。

今後とも子どもたちのよりよい成長に向けて学校、家庭、地域がより一層連携して取り組んでいきたい。

【デジタル化され効率化された取組】

Googleフォームを活用した各種アンケート調査 デジタル化の導入によるR5年度執行部役員公募

本校PTAでは、共働き世帯の増加など家庭状況の変化に伴い、従来のPTA行事や役員決め等についての負担感の解消に向けて様々な活動内容の見直し、PTA活動の改革を行っています。従来からの役員数を減らしたり、これまで行ってきたプリント印刷、配布、集計などの手作業の業務をデジタル化できることは可能な限りデジタルで行ってまいります。例えば、これまで多くの方々が関わって行ってきた「ほしにレフェスタ」というレクリエーションの活動に改革することで大幅に業務を減らすことができました。また、参加申込やボランティア募集の業務を紙の申込からGoogleフォームを活用した申込に改えることで大規模な業務の効率化と簡素化を図っています。

従来のPTA活動の見直しとデジタル化の導入による業務の効率化と簡素化

本校PTAでは、共働き世帯の増加など家庭状況の変化に伴い、従来のPTA行事や役員決め等についての負担感の解消に向けて様々な活動内容の見直し、PTA活動の改革を行っています。従来からの役員数を減らしたり、これまで行ってきたプリント印刷、配布、集計などの手作業の業務をデジタル化できることは可能な限りデジタルで行ってまいります。例えば、これまで多くの方々が関わって行ってきた「ほしにレフェスタ」というレクリエーションの活動に改革することで大幅に業務を減らすことができました。また、参加申込やボランティア募集の業務を紙の申込からGoogleフォームを活用した申込に改えることで大規模な業務の効率化と簡素化を図っています。

入学式の様子をYouTube配信 2022年04月07日

4月6日(水)本校の新学年スタートの様子をYouTube配信のニュースで放送されました。お慶びのニュースで放送された喜びが、多くのニュースでも取り上げられました。入学式についてはコロナ対策として参加者名の制限をしたため、その対応としてYouTubeライブ配信をしたことにも感謝していただき大変ありがたかったです。

県PTA新聞(小学校版)2面に本校の取組が掲載されました 2022年05月02日

5月2日(月)県PTA新聞(小学校版)5月号に本校の取組が掲載されました。内容は「チーム星峯西小学校で取り組むエドテックとは?」というタイトルです。これからの学校の教育活動やPTA活動の方向性を示す記事。学校と保護者をデジタル通信で繋ぐ取組を紹介しました。 ※エドテックとは教育工学、教育分野でデジタル化を指します。

ボランティア制によるPTA愛好作業の実施 2022年10月16日

10月16日(日)7:00~8:30PTA愛好作業を行いました。たくさんの保護者や教職員がボランティア制で学校地内の清掃をしていただきました。執行部役員の方々は事前の人数合わせを済ませていただきました。当日朝6時に集合して、駐車場の誘導、清掃用具の準備、飲み物の準備等を順番に準備していただきました。愛好作業が大変スムーズに行うことができました。PTA執行部役員の皆様を始め、参加していただきました多くのPTA会員の皆様へ心よりお礼申し上げます。素晴らしい教育現場の中で教育活動が行えます。

全学級のPTA活動年間努力点の設定とその取組

①全学級のPTA努力点に5つの共通実践事項を位置づけて年間(2サイクル)取り組む。
 ②授業参観で多くの保護者の参加を促し、学級PTAを開き、共通実践事項の取組についてグループでの話し合い活動を実施する。
 ③各家庭での様子一人ずつ話すことで情報交換が図れるようにするとともに、保護者の意見を高めるようにする。